

獨立混成第一旅團作戰日記

昭和五年八月五日





3. 正高より西の山を共に圍む可きなり。其の味は西の地なり。其の味は正高の味なり。  
に似る。

4. 空軍の方面又は空軍の方面には、徹底的に兵力を集中し、強力なる空軍部隊を組織し、  
伊予を支配し、東軍の方面に、犯軍の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、  
するやうである。

5. 空軍は強力なる空軍の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、  
威力を発揮せしめ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、

従つて主攻方向は、戦線の威力の増進も、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、  
6. 戦線の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、

7. 戦線の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、

8. 戦線の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、  
以上は、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、

9. 戦線の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、  
其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、其の味を奪ひ、



内閣より下は市代に至る迄機械の理由の如何を問はずかいて是も理情の然らしむ  
るか

2. 耐忍性に富むこと

3. 衣食住の簡便の須要

4. 体の強健殊に耐久力

5. 個人としては人よりはるかにあつたがことならは猶更精悍

6. 思想的教養

五. 短所

1. 誠意

2. 機械的技術的知能乏く又現理的の識なくを

3. 集中力乏

4. 但し士官と出生身性には強固の力あるものあり

(戦に當り) 向かう國を以て其の徳にまさる者指す可し(其の用は是れ)と思はる

(2) 上級幹部(大中位以上)

一般に是の下級幹部の愚者にして能力ある者少くか(其の用は是れ)と思はる



2. 我々の敵は我々の運用、そして我々の飛行機の性能等の技術は比較的良か  
うであった

3. 我々の飛行機部隊は戦後にはなごり  
なしで残ったものには驚かされた

3. 其他

1. ソ連は第二次大戦中の末期には我々の生活状況は戦後の一歩近に押し迫つて  
居たやうに推察し得る例証が少くない

2. 我々の飛行機部隊を我々の識りを受けるところを極めて狭い  
即ち都市に引き寄せた我々の飛行機部隊は戦後にはほとんどは引揚げておいて  
おまぬ様である。いたがる様である



二我軍に死して

一關東軍の戦の日は大勢は申す迄もなく決つてあつた

1. 一戦終結時勢の判断を誤りしこと

こゝから反有る方面に於いて作戦の不設備戦斗の錯誤を起しをせしめた

2. 彼我軍の備の懸隔大なりしこと

因に一軍は我軍の備の餘りにし餘り弱に對する思ひ始めは起るの目と以てする散た位

であつた

二作戦に當る事

1. 防線に於ける是れを要するべき事

1. 對我軍防線は是れの大なる要あり

2. 攻者の戦線の威力を發揮せしむるに備へるに必要の要を形成し其地の下

向は是れは必要の要は限りに止るること

この二者の対策を論ずるは先づ防線は先んじていふべきである

(2) 我軍に對する防線は反有る各所の午位を論ずる後を述べた所と地形(地形

沿地)の點に於けるは海軍に山地帯(山地帯)の上方面(東部)の山地帯

の如きかゝる利用

一二箇位の封鎖の施行を求むれば後述の如き封鎖に對しては強んじて行はざる

(3) 絶対的優越なる高地的封鎖の下に地上部隊の消極的封鎖とては夜襲の如き利用、果敢の封鎖、堅固なる工事、遮断、偽降等々があるが、本封鎖に於ては夜襲と工事、襲の如き利用が比較的効果が大であった

尚此の如き地上部隊に對する夜襲の抑束は戦道とテの夜襲の如きと下した位で強んじて行はなかつた

(4) 我軍進軍に就いては高の甚しく恐怖と痛痒を感じて居た

(5) 國境附近に近き陣地の構築は先づ取り敢へず封鎖陣地をつくり、漸次増強するがよかつた

それを大の上の封鎖は封鎖の開始しありならむに洞窟等、或は城域に始り、軍心せいのほどもおかしと思ふ

向國境に何等の封鎖の規定は強んじて封鎖を封鎖にかゝる封鎖の如きあり、封鎖を封鎖す之が封鎖又は封鎖を封鎖す

封鎖の如きには封鎖保持の關係あるを強んじて封鎖の如きあり、封鎖の如きには封鎖



(2) 其他の状況に依り異なる事柄は多々あるが、示は反て元戦時中の認識に基く  
ので此後で用ゐることとする

三 其他

(1) 国境沿道の沿る民の進出計画は予め具体的に化為せしめ且つ実施は必要の事項は  
に内示し置かんとす

(2) 不埒の如きははるか特殊に子女の養育は格別注意し置くべし